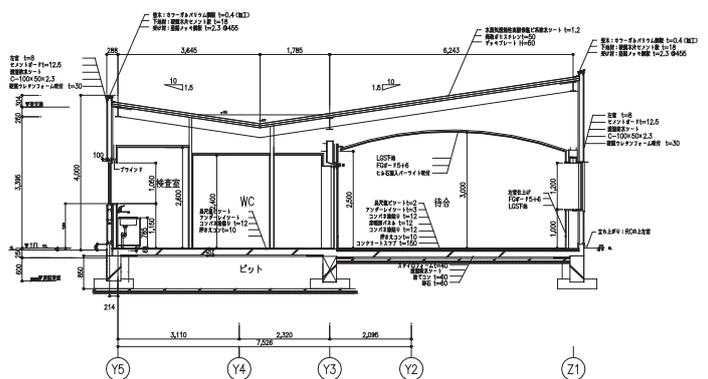




所在地：青森県  
 主な用途：診療所・住宅  
 敷地面積：3000㎡  
 建築面積：475㎡  
 延床面積：456㎡  
 キーワード：みちのく、宣教、文化、地域

Location :Aomori  
 Main Use : Clinics and housing  
 Site Area :3000㎡  
 Building Floor Area :475㎡  
 Total Floor Area :456㎡  
 Keywords : Michinoku, mission, culture, region



### 地域文化と宣教に貢献するみちのくのクリニック

聖マリアハートクリニックは循環器内科の若い医師による住居併設病院である。神戸で医学学会のあったときに私が設計したカトリック神戸中央教会に来られて空間を気に入っていただきご依頼いただいた。神戸中央教会は聖霊に浸されるイメージを目指した教会で、白煉瓦を積んだ内外仕上げと両手で包み込まれたような造形の教会である。ステンドグラスの光を間接的に湛えた控えめな空間をしつらえている。医師は、聖母マリアの慈愛に包まれるような空間のクリニックにしたい考えを持たれていた。彼の修業時代に九州のカトリック系の病院が地域医療に貢献しているのを間近で感じて決心されたという。おもしろも東日本大震災直後の八戸というみちのくの地で計画することになった。ここでは、医療行為だけでなく、ロビー待合スペースを工夫してコンサートや司祭による講座などを通して精神的なケアも行う開かれたクリニックとなることを大切にしたい。玄関に入ると聖書の言葉がむかえてくれる。内部空間はボルト天井を自由曲面の平面で切り取り、動きのある造形になっており音響的にも良い響きを確保している。大きな空間を障害者トイレの入ったブースで場をわけ、待合空間に変化を与えている。正面には木彫のマリア像があり、クリニック全体を見守っている。大きな面積の屋根から周囲に雪をおとさないように逆勾配にして雪を内側にためて融雪するように配慮し、平面特性から動きのあるのびのびとした造形がキリストの象徴の魚もイメージさせ人々を招きいれている。